

# 経験積み業界支える人材に

## 新人・若手社員向け研修開催

### 京都府建設業協会

一般社団法人京都府建設業協会(岡野益巳会長)は、28日、京都市中京区の京都

建設会館で平成29年度「新人・若手社員フォローアップ研修」を開催。協会員

企業の新入社員・若手社員35人が参加した。



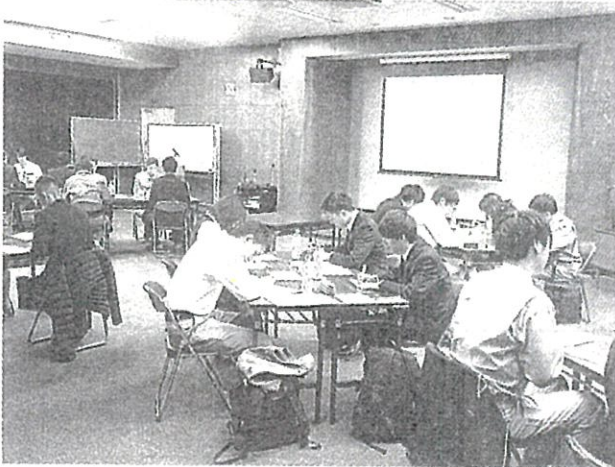
網川 芳務 経営委員長



田辺氏(ナレッジボックス)

ナレッジボックス(株)のキ

会務経営委員会委員長は建設業界への志望に謝辞を述べた後、「市民のインフラを整備する仕事のやりがいを感じ、経験値を積み重ね業界を支える人材になつてほしい」と参加者を激励した。



研修の様子

キャリアカウンセラーの田辺 日の研修では社会人・組織直子氏が講師を務め「今人としてのマナーや個人の

価値観を知ることの重要性等を学んでほしい」と呼びかけ。

午前中は、社会人として仕事をするために必要な責任感、心構えを改めて復習。年代の違う人とのコミュニケーションや情報の守秘義務(ITリテラシー、社内情報の守秘義務、入社から今までの経験の整理(ヒアリングシート)などを行った。

午後からは安全衛生管理についてグループディスカッションを行い、ヒヤリハット体験と予防対策等を再認識。最後にこれからの目標設定に向けたキャリアマップを作成した。

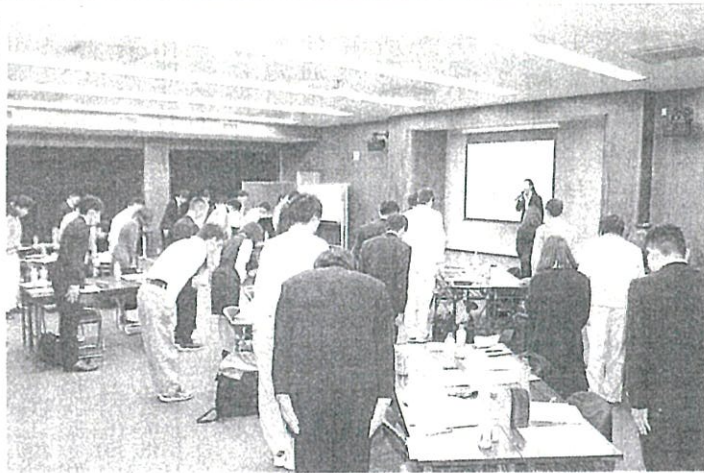
# 新入・若手フォローアップ研修 京都サンダー田辺氏が講演

京都府  
建設業協会

(一社)京都府建設協会(岡野益巳会長)は28日、新入・若手フォローアップ研修を開催した。協会員企業11社から若手社員35名が参加し、職場での心構えやキャリアアップのための研修を受けた。講師は京都サンダー企業画部部长でキャリアアップコンサルタントを務める田辺直子氏が

担当した。

主催者として同協会 労務経営委員長の絹川 雅則氏が冒頭に挨拶 「皆様は厳しく、苦勞も 多いと知りつつ、この 業界に入っていたいだ い。本当に感謝申し上 げる。人を支える仕事



冒頭に全員で挨拶の練習



絹川委員長



講師の田辺氏

の一翼を担う仕事であり、常に黒子に徹する業界ではあるが、先輩の経験や知識をスポンジのように吸収していただき、更に後に続くであろう後輩らにも伝えてほしい」と参加者を激励した。

ブラゲラム前半は、座学として①社会人・組織で働く時に求められること②年代の違う人とのコミュニケーションの守秘義務④「会社が守ってくれる」ではなく「自分が造る」意識へ⑤入社から今までの経験を整理する(ピアリングシートを使って)——と多彩な内容を学習した。

昼食を挟み後半は、グループディスカッション「ワールドカフェ」と題し小グループ単位で実施した。田辺氏は、「今転換期を迎えつつある建設業界が国を支える基幹産業であることに変わりはなく、また、国を支えるとは日々の暮らしを守ることであり、すなわち命を守る産業である」とし、業界では必ずついて回る安全ということについて、ヒヤリハットなどの経験を基に設定されたテーマについて、参加者が自由に意見を出し合い、お互いの思いや考えの背景について探求、相互理解を深めあった。

最後は、「これからの目標設定」〜キャリアアップ作成、自分との付き合い方〜セルフマネジメント〜について考えた。